

令和5年度第2回 羽曳野市本庁舎建替整備に関する意見聴取会 会議録

1. 日 時 令和5年10月27日（金）10時～11時30分

2. 会 場 羽曳野市役所 別館3階会議室

3. 出席者 （敬称略・区分別五十音順）

区分	氏名	所属・役職等
学識経験者	和泉 大樹	阪南大学 国際観光学部 教授
学識経験者 (座長)	関川 華	近畿大学 建築学部建築学科 准教授
市民団体	音川 佳世	羽曳野市身体障害者福祉協議会 会長
市民団体	真銅 善夫	羽曳野市連合区長会 会長
市民団体	原 誠	羽曳野市商工会 会長
議会	百谷 孝浩	羽曳野市議会 公共施設建設整備特別委員会 委員長

4. 欠席者 なし

5. 傍聴者 1名

6. 資 料 ・資料1 意見聴取会構成員名簿
・資料2 基本計画素案
・資料3 断面構成イメージ

7. 事務局 ・羽曳野市 総務部管財用地課庁舎整備推進室
(・阪急コンストラクション・マネジメント株式会社)

8. 内 容

1. 開会

■事務局より開会の挨拶。

2. 室長挨拶

■筒井室長より挨拶。

- ・庁舎整備推進室長の筒井でございます。本日は第1回に引き続き、第2回の意見聴取会にお忙しい中参加いただきましてありがとうございます。今現在、庁舎整備については基本計画を策定しておりまして、後でご説明させていただきますが、1章から3章までは案として計画しております。
- ・基本計画につきましては5章構成となっており、4章5章に関しましては、市庁舎の具体的な形というところが検討されるようになっております。今回皆様のご意見をお伺いしたいと思っておりますので、忌憚ないご意見をお願いします。

3. 資料確認

■事務局より資料確認

4. 構成員の交代について

■事務局より構成員の交代について報告

- ・羽曳野市議会の公共施設建設整備特別委員会委員長の改選に伴い、百谷孝浩氏が今回より参加

5. 次第1

■次第1「羽曳野市本庁舎建替整備基本計画について」、事務局より説明

- ・資料2「羽曳野市本庁舎建替整備基本計画（素案）」に沿って1章から3章までを説明

6. 質疑応答

◆和泉氏

- ・緊急時にヘリコプターが止まるようなスペースなどは今回の庁舎整備に想定はされていますか。

■事務局

- ・庁舎内でのヘリコプターの離着陸は想定しておりません。

◆和泉氏

- ・21ページの観光のところですが、前回会議があってから古市駅前の観光局に伺いました。施設にはそれぞれの役割があるが、21ページのところ歴史資産の価値理解の促進、魅力発信の拠点となる施設とはその通りと思います。ただ、ここを見てから市内の現地へ行っていただけるような、この建物だけで完結するだけでなく、エコミュージアムというフランス生まれのシステムで、「コア」という真ん中の博物館を見てから「サテライト」という保存されている文化財や小さな資料館を見るような発想で、羽曳野を楽しみたい人はここへ来て情報を得て市内の色々な場所へ見て回れるといった文章もあってよいかと思えます。

■事務局

- ・庁舎に来て、眺望を眺めて終わりという形ではなく、色々な古墳群などを見ていただけるように誘導するような情報発信をしていき、皆さんに利用していただけるような形を考えていきますので、文章についても見直した表現にさせていただきます。

◆原氏

- ・前回は申し上げたと思うのですが、羽曳野市に観光バスの駐車場がないのが欠点です。観光バスが何台も止められるようなスペースを作り、一般の乗用車は立体駐車場にして上に上がっていく。駐車場としての利用の他に、立体駐車場を作ると屋根があり、災害時にそこに物資を積んだりとか、避難できたり使えますので

屋根があるのとないので大きな違いがございます。普段は駐車場として使っていて、立体にした方が駐車の数も増えると思いますし、災害時にも使えるのではないかと、屋根があるのはすごく大きなことだと思うので、ぜひそういうふうにして頂きたいと考えています。

■事務局

- ・ 駐車場をどういう形にするかということも含めて、検討していかないといけないと思っております。観光バスの駐車場などのスペースは基本設計の中でまた検討して行きたいと考えております。

◆関川氏

- ・ 資料 16 ページ業務の効率化を踏まえて、レイアウトを変える話があったが、フリーアドレスに近いと思うが、個人情報も扱われると思うので、柔軟性と物の管理、情報の管理がうまく行くのか。もし前例があれば教えていただきたい。

■事務局

- ・ 従来のレイアウトというのは、固定席の形になっているが、今の形の中で言うと、ユニバーサルレイアウトとかフリーアドレス、それからまたグループアドレスという形が色々想定されます。それができるのは DX の推進、いわゆる Wi-Fi 機能を使って、どこでも仕事できるというところがあり、利用したいと思っております。当然、課によって働き方が違うので、業態によってフリーアドレスの形にするわけにはいかないところもあり、色々なタイプが出てくると思うため、それに沿って考えていこうと思っております。

◆関川氏

- ・ 20 ページですが、環境に関する話をしていただきました。木材というのは再利用可能というよりは、脱炭素の目で着目されていると考えるが、その点では非常に多くの新庁舎が木材、CLT 等で建設されています。今回古墳に近いこともあり、木質での仕上げは有効なんじゃないかなと思っております。仕上げだけじゃなくて、構造で見込めるのかというのは、ちょっと構造の専門家に聞かないとわからないですけども、積極的に地域産材だとか、新しい技術を使って、着目されるような存在になるのはすごく意味があるという感じでした。その辺のビジョンがあれば教えてください。

■事務局

- ・ 構造部材として木材を使うというのは難しいので、内装材で対応していきたいと考えております。後で写真をご覧くださいますが、色々な庁舎を視察させていただきました。ポイントポイントで木が使われることがあるので、そちらなど参考に内装材を利用させていただきたいと思っております。

◆百谷氏

- ・ 第 1 回の時も、意見聴取会ということで意見や要望は色々あったと思うが、最終まとめていただいて、どこまでが採用されるかということも返事をいただけるものでしょうか。この辺、教えていただきたいと思っております。

■事務局

- ・ 色々とお意見伺いましたこと、例えば木材を使うとかは目標としているので対応していくという話をさせていただきますが、事務局で結論を出すわけではなく、組織の中にはワーキンググループや最終の意思決定機関である庁内検討委員会があります。いただいたご意見は庁内検討委員会にも諮らせていただいて、意見聴取会でフィードバックさせていただきながら計画を進めて行く考えです。

◆音川氏

- ・ 14 ページの多目的トイレは全体でいくつくらい作っていただけますか。スペースが結構いるが、2 つくらいあった方がよいと思います。以前別館の 2 階で活動を色々やっていた時に、別館のトイレは洋式が 2 個と和式が 1 個のため、洋式が取り合いになる。足が悪い人がみんな洋式に行きたがるので、もう和式はいらないじゃないかなと思います。だから多目的トイレはそんなに要らなくて、多目的

トイレよりは洋式トイレを増やしてほしいなと思います。

■事務局

- ・多目的トイレにつきまして新庁舎に設けますが、まだ何個というのは明確にはありませんが、男子トイレと女子トイレ、多目的トイレ、今はそれ以外の形もありますので、色々な形のトイレ計画を検討していかないといけないと考えております。
- ・洋式が基本的には多いのですが、和式がいいと言われる方もいらっしゃるケースがあり得ます。そちらを今後どうするかというのは、色々検討していかないといけない、触れると嫌な方もいる、そちらも含めてどういう対応できるか、色々検討していきたいと考えております。

7. 休憩

8. 次第2

- 次第2「新庁舎の構成イメージ（断面構成）」について、事務局より説明
- ・資料3「新庁舎の断面構成イメージ」に沿って説明

9. 質疑応答

◆関川氏

- ・これはA案の方が業務の効率性という意味ではよいという意味ですか。

■事務局

- ・A案の方が人の流れがフラットな移動となりますので、そちらの方が効率性の面でいいということです。

◆関川氏

- ・先ほど出ていた観光拠点だとか、まちに開くとかキーワードをつけたら、業務ごとのゾーニングを水平にするという案もあるのだが、別館の例えば1階、2階みたいなものを事務系だけじゃなくて、まちに開く系の何かコンテンツを入れることで使っていけるC案みたいな考えがありますが、A案で考えられているならA案を改善する方法で考えるものいいかと思います。

■事務局

- ・ご意見として受け取らせていただきます。なお、1階のブリッジに関しましては空いていますが、ここは車が通れるスペースとしております。

◆真銅氏

- ・今、電源が地下にあるが、今回は地下はなしですか。

■事務局

- ・別館は地下がないので、連動性という意味と、あと浸水対策からこの案では地下はなしとしています。電源関係は上層階への設置を検討しています。

◆百谷氏

- ・今あるC棟とD棟はどうなりますか。

■事務局

- ・C棟、D棟は、A棟と合わせて解体を考えております。

◆和泉氏

- ・展示ギャラリーなどは、共有スペースで考えられているのでしょうか。

■事務局

- ・展示ギャラリーに関しては、1階や上層階で考えております。

10. 次第2

- 次第2「新庁舎の構成イメージ（平面構成）」について、事務局より説明
- ・スクリーン投影資料により説明

11. 質疑応答

◆和泉氏

- ・教科書的にいうと、観光という観点で観光者と市民が交流するというのが重要だということになります。市役所に来られた方と市民の方と、それから世界遺産の拠点になるような位置づけで方向性を示されるのであれば、観光者の方がなげない会話をされるだろう空間になればいいなと考えています。
 - ・市民共有スペースを何箇所か設けておられていて、それは重要なことだとは思いますが、待合スペースとそんなに変わらない活用のされ方になってしまうこともありますので、市民共有スペースは位置づけを明確にされた方が良いと思いました。皆さんの業務でいくとやりにくいと思うかもしれませんが、観光の部署や世界遺産、文化財の部署を1階に置くのも面白いです。市民ファーストですので市民の方の窓口でというのが一番でしょうが、横に観光とか世界遺産とか文化財の部分があるというところは見たことがないので、1つの売りになるかなと思いました。
- 職員の方がランチをとるようなスペースを一般開放し、多様な方が過ごせるような、そういうスペースがあってもよいと思いました。

■事務局

- ・意見としては取り入れさせていただき、今後考えていきたいと思っております。
- ・ランチスペース関係につきましては、視察させていただいた伊丹市もそうですが、1階の市民共有スペースで飲食可能とし、ランチスペースに関しましては11時から1時、2時まではランチとして利用するが、それ以外の時間帯は職員の会議スペースとして利用できるようにできればという思いもあり、守秘義務もあるので分けさせていただきました。

◆音川氏

- ・3年前まで私たち羽曳野市身体障害者福祉協議会は別館の2階で活動していました。今は陵南の森でお茶、お花など様々な活動をしています。しかし、循環バスが充実していません。遠いのでタクシーで行ってはお金がかかり、家も市役所の方が近くになります。循環バスが充実していて、手続きの際も近い市役所の方に帰れたらという意見が他の利用者からも出ています。案ということですが、この先のこととして考えていただきたいです。

■事務局

- ・当然、施設の有り様という形は、基本計画、基本設計段階で協議をさせていただきますので、今後検討させていただきたいと思っております。

◆百谷氏

- ・これは敲き案として、プロポーザルで設計者が案をお示しされるということですが、今要望させていただいているものは反映をした上で設計者からお示される流れなのでしょう。

■事務局

- ・これは敲き台ですけども、その意見をどう反映していくかというのは、今後検討していきながら、最終、基本設計の段階でどうなのかというのは分からない部分はありますので、取り敢えずお預かりさせていただきたいと思っております。また今後どうするのかはまたお示させていただきたいと思っております。

◆百谷氏

- ・設計図の最終の説明というのは、大体いつ頃と思っていたらよいでしょうか。

■事務局

- ・次の基本設計に関しましては、今年度内にプロポーザルを行いまして、今年度内に基本設計者を確定し、来年度4月1日以降で基本設計に着手していただく形にはなります。来年度早々すぐできるわけではないのですが、当然ある一定の期間でまとまってくると、意見聴取会でもお示しさせていただき、ご意見をお伺いし、最終、庁内の検討委員会に諮って最終決定していきます。順次お諮りはさせていただきます。

◆ 関川氏

- ・市民活動を所管している課は何階にあるのですか。

■ 事務局

- ・市民協働ふれあい課ですので本館1階になります。

◆ 関川氏

- ・私も職員ランチスペースと一般の方のフリースペースが分かれていることに対して、はじめ聞いた時に、もう少し混ざってもいいのかなと思ったりもしたのですが、機密性の高い打ち合わせ等があるということで、それは納得しました。今職員の方はどちらでお食事取られているのですか。

■ 事務局

- ・多くの職員は自席または執務室裏のバックヤード的な場所で食べています。実際、1階ロビーなどは市民の方から見える位置にあり、職員が食事をしているとクレームをいただくこともあります。休憩時間以外に昼食をとることも多々ありますが、今の環境は良くないので、ランチスペースという形で考えています。以前は本館の地下1階に食堂があったのですが、1年ほど前から閉鎖していますので、食べる場所も自席や会議室、空きスペースになっています。

◆ 関川氏

- ・私も職場では自席で食べるのですが、食事場所は組織内で確保されているものの、仕事があって常にパソコンを確認しながら時間を過ごさないといけないということもあって、学生と話をしたりということもあって、なかなか自席から食事をするための専用の空間に移ることができない。結果的にコロナもあって、新しく設置した食堂がどうなったかという、ものすごく閑散としていて、管理する人がおらずあまりよくない状態になっていたもので、DX化で各フロアに床が少しずつ余るのであれば、各フロアでコアになるような職員さんのための空間を小さくてもいいので確保していく、というのが、大きく一か所にとるよりはいいのではないかと考えます。

- ・1階のコンビニについて、利用ピークは12時頃で、市役所で窓口を利用される方が食事をするために、ピークを迎えると思います。しかし、そうすると、職員の方にはあまりいきたくないようなコンビニにならない、職員目線なのか、市民目線なのかで振り切った商品を置かれる方がいいのかなと思います。事前に食事を用意されて、通勤して来られることが多いと思いますので、コンビニが本当に営業を続けていけるのかとか、市民もここで用事が終わったら外で食べようと思われるのかもしれないし、特徴的な何か多少狙ったものをテナントとして入れてテナント収入を得るみたいなことも、攻めの庁舎整備としてはあると思います。そうすると、中途半端な用途を入れない方がいいなと感じました。

■ 事務局

- ・コンビニに関してはサウンディング調査を当然していくので、先生のおっしゃることはよくわかるところでありまして、バックヤード的なところも含めて、会議室や打合せスペースを何個か作ろうと思っておりますので、そういったところで食事ができるかなど色々運営の仕方を考えていきたいと考えております。

◆ 関川氏

- ・屋外テラスへのアクセスは外側からを想定しているということで、作った当初は利用されるが、管理されないとやがて植栽が枯れて寂しい感じになり使われなくなるので、誰かの日常的に使うような空間としての屋外テラスという風に位置付けて欲しいと思います。遊具などはなくてもいいので、晴天時に利用できるようなテラスがあれば、待ち時間に子ども連れで来庁されたお母さん達が困らないのではないかと思います。荒れていかないような工夫を考えていただければと思います。

■ 事務局

- ・利用されないというのが一番荒れていく原因になりますので、どういう形に設定

をするか検討していきたいと思っております。

12. 次第3

■次第2「その他」について、事務局より説明

13. 質疑応答

◆特になし

14. 閉会